

# NEXT STEP TOKYO

中長期計画(第1次)

2024~2028



Tokyo Athletics Association  
公益財団法人 東京陸上競技協会

# 公益財団としての 東京陸上競技協会は 新しいステージへ

進化と発展の5年間  
そして次の段階へ・・・

# NEXT STEP TOKYO

## ○めざしていること

- ◇東京の課題・その解決・そして進化・発展へ
- ◇「する・見る・支える」皆さんが参加できる大会へ

## ○人材発掘と育成

- ◇指導者養成
- ◇選手育成
- ◇審判員養成

## ○競技会運営

## ○マーケティング

## ○組織強化とガバナンスの徹底



Tokyo Athletics Association  
公益財団法人 東京陸上競技協会

# NEXT STEP TOKYO

## ○5年後の東京の陸上競技

人口が少しずつ減少する中で・・・右肩上がりの成長

### ◇登録会員

10,000人の会員増加、2019年ピーク(36,000人)を超える40,000人

### ◇人材発掘と育成

- ・指導者・・・公認指導者の育成、スタートコーチ 95名⇒400名、コーチ1,237名⇒800名
- ・選手・・・確保と人材育成、強化・普及 ⇒ 競技者数増・大会成績向上
- ・審判員・・・2002名 ⇒ 2500名 (S/A/B/C) (WAレフェリー ↑)

### ◇競技会運営

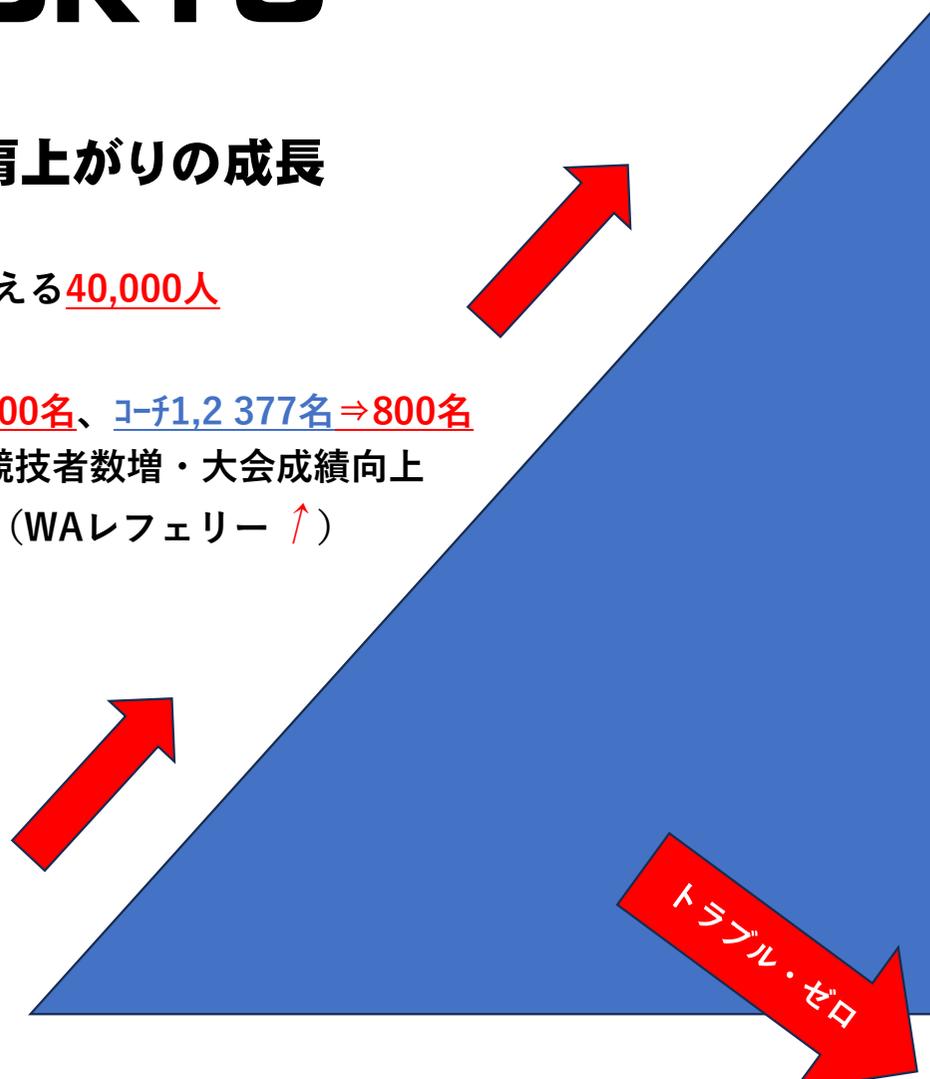
- ・皆さんが参加できる「一体型大会」

### ◇マーケティング

- ・スポンサー・サポーター等のご協力
- ・協会収益増加⇒2023年ベースに1.5倍へ

### ◇組織強化とガバナンスの徹底

- ・東京の陸上競技会から「トラブル・ゼロ」へ



# めざしていること

## 東京の課題・その解決・そして進化・発展へ

### ○東京都の課題（全国的に課題でもあるが・・・）

◇少子化 平成で横ばいだった出生数が令和に入り一気に減少へ

令和に入り出生数が10万人を下回り、**2024年は88,295人**、最小数となる。

- ・ **中学校部活動の減少** 「スポーツクラブ」や「地域クラブ」が浸透しつつある
- ・ **長距離選手の減少** コロナ禍以降、都内長距離選手が減少状況



これからの世代の

**「選手」「指導者」「審判員」**

**確保と育成が重要**

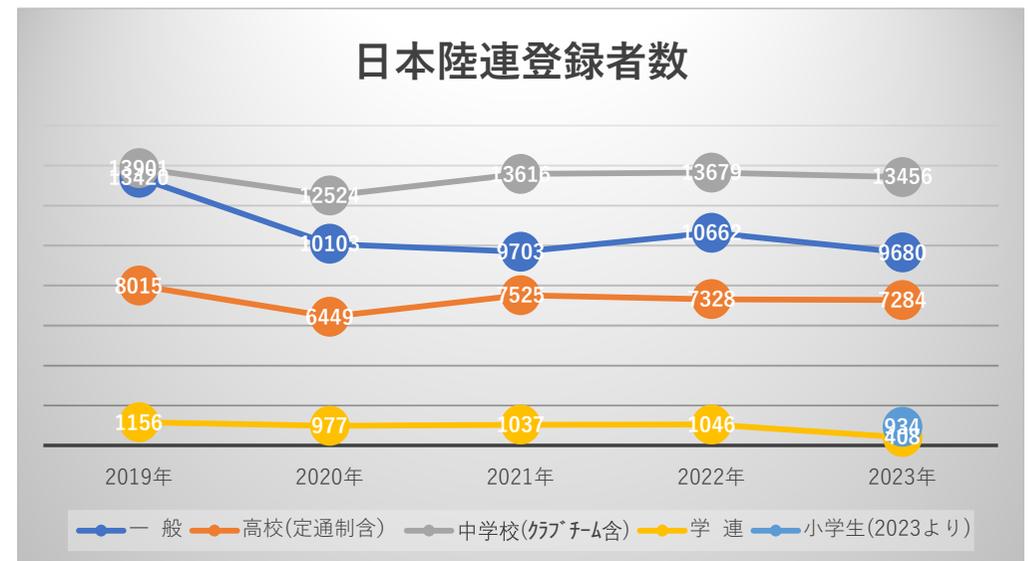
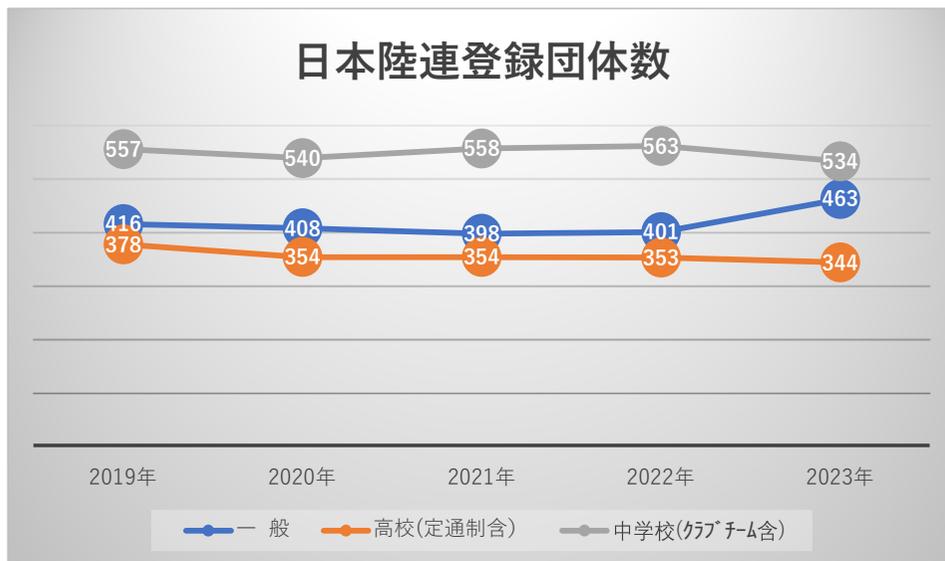
はじめは・・・選手確保

# めざしていること

東京の課題・その解決・そして進化・発展へ

現状打破  
 上方修正  
 へ

- **東京の日本陸連登録者の状況** 2023年度総数31,762名
- コロナ禍以降は総会員数が約4,500名減少で維持
- 一般はコロナ前から3,800名、学生は2022から半減の408名
- 中学約13,000名、高校約7,500名で横ばい



# めざしていること

東京の課題・その解決・そして進化・発展へ

## ○課題解決に向けて

①**子どもの確保** ⇒  
幼児期・小学生

**新たな取り組みとして**

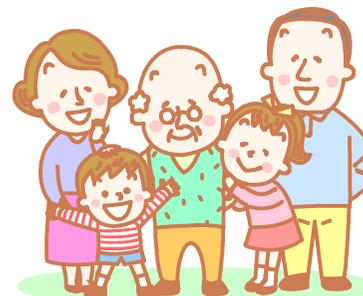
**人が集まる大会やイベント開催**  
家族参加型で保護者も協力  
陸上競技のファンを呼び込む

**子どもの笑顔が、次へのステップへ**

楽しい「かけっこ」そこから・・・

**「陸上競技」へ**

より多くの皆さんが参加する  
土壌作りを推進



# ・めざしていること

「する・見る・支える」皆さんが参加できる大会へ

○陸上競技の興味ある子どもの増加が次へのステップ

- ・会員増加（加盟団体・登録会員）
- ・競技者増加
- ・保護者増加
- ・有資格指導者増加
- ・ファン・サポーター増加
- ・協賛事業者・スポンサー増加



# 人材発掘と育成

①指導者養成 ②選手育成 ③審判員育成

○東京で「・・・したい」皆さんの育成

魅力ある東京の陸上競技の拡散・拡大へ

- ◎東京で選手の指導育成をしたい
- ◎東京で選手として活躍・活動したい
- ◎東京で審判員として活動したい
- ◎東京の選手を応援したい



# 人材発掘と育成

## ①指導者養成事業「選手の指導育成をしたい」

### 公認指導者の養成 (JAAF/JSPO公認指導者)

- ⇒ 子どもの発達段階に応じた指導のできる指導者
- ⇒ スポーツ指導者としてのガイドラインを理解した指導者
- ⇒ 指導理念、指導力、指導者資格の伴った指導者



### 指導者養成事業を展開中

スタートコーチ養成講習会(4回・毎年複数回)18才以上

コーチ1養成講習会(1回・毎年開催)20才以上

スタートコーチ・コーチ1は希望者が受講可

コーチ3養成講習会

陸連が開催(各都県から2名のみ東陸推薦者)

この後、スタートコーチ54名、ジュニアコーチ60名増加中⇒

### 東京都の有資格陸上競技指導者数(登録数)

JSPO (日本スポーツ協会) JAAF (日本陸連)

2023/10.1

	JSPO スタートコーチ	JSPOコーチ1	JSPOコーチ2	JSPOコーチ3	JSPOコーチ4	指導者
	JAAF スタートコーチ	JAAF公認ジュニアコーチ		JAAF公認コーチ		総数
東京登録者	95	374	3	97	20	589
全国総数	548	4,515	61	1,203	171	6,498
有資格者%	17.3%	8.3%	4.9%	8.1%	11.7%	9.1%
登録者順	1位	1位	1位	1位	1位	1位

※ 人口から考えると、1位とはいえないかも知れませんが・・・

# 人材発掘と育成

## ②選手育成事業 「選手として活躍・活動したい」

### ○「普及育成」と「強化育成」

#### ◇普及育成

- ・草の根運動 小学生をはじめとしたクリニック活動で楽しさ  
親子参加型の楽しいイベントでファンをつなぐ
- ・普及活動 地域クラブやスポーツクラブと協力 ⇒ 競技者増へ

#### ◇強化育成

- ・東京代表の意識向上 東京から世界へ  
国体優勝、各駅伝優勝をステップに世界へ  
日本代表・東京代表をサポートできる環境を強化
- ・東京愛の醸成 東京都選手の自覚と地元に貢献できる選手の育成  
いずれは東京都で指導者やサポーター、審判員として貢献



世代を繋ぐ循環型社会の醸成

☆いずれは、東京発展の協力者として活躍・活動できる人材へ

# 人材発掘と育成

## ③ 審判員育成事業 「審判員として活動したい」

現在 日本陸連S/A/B既得者 2,002名 C取得者9名 (2023年 講習会受講者1378名)

○新B/C級審判員取得者を増やす活動 新B 2023年87名⇒2024年108名へ

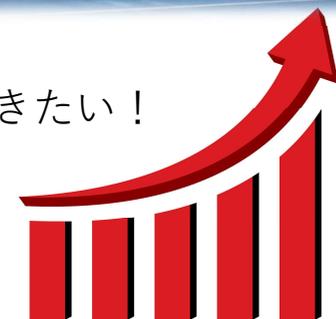
⇒ モチベーションを持ってもらうために目標やステップアップチャートをわかりやすく図式化

- 国内で注目の大会で審判するには！？ = 箱根駅伝や東京マラソン
- 世界的大会で審判するには！？ = GGP
- さらなるステップアップ = A級⇒S級
- 国内外の資格 = WAレフェリーブロンズやJTO
- 世界での活躍 = WAレフェリーシルバーやゴールド



○さまざまな背景をもった人材を迎え入れ陸上競技の楽しさを一緒に体現

- 競技を続けながら裏方も経験したい = 引退後も見据え審判の経験を積んでおきたい！
- 競技引退後も陸上競技にかかわりたい = 現役時代の恩返しをしたい！
- 陸上競技ファンから審判員へ = 記録誕生の瞬間に立ち会いたい！
- ボランティアから審判員へ = より責任ある任務を任されたい！
- 仕事に余裕ができたので何か資格を取りたい = 陸上審判は未経験者でも取得可能！



# 競技会運営

## ○皆さんが参加できる「一体型」大会の運営

- ◇選手が楽しい 「競技すること」が楽しい
- ◇指導者・保護者が楽しい サポートが楽しい
- ◇観客やファンが楽しい 見ていて、応援して、そして会場が楽しい
- ◇スポンサーが楽しい 競技場の賑わいが楽しい  
これからもサポートしたい
- ◇審判員が楽しい 運営や協力が楽しい

☆ **競技のルールは厳正に、ただし・・・  
そこにいる会場の皆さまが充実した大会へ**



# 競技会運営

## ○障がいや年齢の垣根を取り払い陸上競技を愛する 仲間の輪を広げる



### ◇それぞれの統括団体との協働

\* 東京マスターズ、パラ陸連、デフ陸協、ブラインドマラソン協会など

### ◇パラやデフ競技者、小学生もマスターズも

**一緒に参加できる競技会の開催** \* オール陸上やNAGASEカップ

### ◇これまで機会のなかった人たちが参加できる場の提供

\* 低身長（実践例：低身長者による砲丸投エキジビション）

\* ダウン症（実践例：ダウン症対象陸上競技教室）

### ◇障がいがあっても審判員になれる 車いす利用者の公認審判員資格取得をサポート

## ○障がいや年齢の垣根を取り払い陸上競技を愛する仲間の輪を広げる

### ◇東京だからできる競技場を飛び出したイベントの企画と実践

\* ストリートイベント

\* ランニングイベント など

# マーケティング

## 陸上競技の価値向上・未知の市場の拡大

○陸上競技を**する**(してもら) **選手**・・・確保と人材育成、強化・普及

⇒ 競技者数増・大会成績向上

ジュニアアスリートの育成からトップアスリートの強化へ

○陸上競技を**みる**(みてもら) **競技会運営**・・・魅力のある大会運営

⇒ 選手が**楽しい**「競技すること」が**楽しい**

指導者・保護者が**楽しい** サポートが**楽しい**

観客やファンが**楽しい**

誰でも参加可能なイベントの創出

SNSを利用した「観る機会」を創出

○陸上競技を**ささえる**(ささえてもら) **指導者**

・・・ 安心安全で「アスリート・センタード」な公認指導者の育成

**審判員**

・・・ 安心・安全かつ公平な競技会運営 公認審判員の確保・育成

○登録会員

⇒ 会員増加、**40,000人に拡大** (競技会参加者、審判、指導者)

○協会収益増加 ⇒ **2023年ベースに1.5倍へ**

⇒ 協賛事業者・スポンサー増加 (Win Win な事業展開)



# 組織強化とガバナンスの徹底

- 「危機管理マニュアル」に則った安全管理の徹底
- トラブルのない、クリーンな「陸上競技の環境作り」

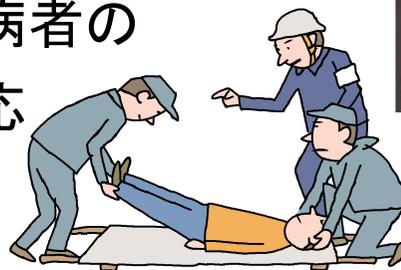


## ・・・問題回避、そのために・・・

- ◇ガバナンス徹底のための、加盟団体や登録会員への啓蒙活動
  - ⇒ ホームページや審判講習会、各大会での諸注意等で周知徹底

## ・・・問題発生、その対応・・・

- ◇問題事案・事故案件の迅速な対応
- ◇緊急時の連絡体制強化と適切な対応
- ◇大会等での自然災害・事故・傷病者の  
適切で迅速な対応



アスリートの盗撮、  
写真・動画の悪用、  
悪質なSNS投稿は  
卑劣な行為です。

# ***NEXT STEP TOKYO***

**第 1 版**

**令和 6 年 8 月 2 2 日**



Tokyo Athletics Association  
公益財団法人 東京陸上競技協会